

府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画 策定のための調査

障害福祉サービス事業所調査についてのお願い

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、令和6年3月に策定を予定しております「府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画」の基礎資料とするために、調査を実施します。

この調査は、府中市内の障害福祉サービス事業所にご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容は、「府中市個人情報保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年3月 府中市

記入についてのお願い

- 1.各質問に対し、**調査対象となっている事業**について回答してください。令和4年12月時点の東京都福祉保健局より提供されております事業登録所に送付しています。**各事業所にてユニット（分館）をお持ちの場合は含めてご回答ください。**
- 2.濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
- 3.お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
の場合は回答内容等を記入してください。
- 4.○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
- 5.「その他」に○印をつけられた方は、〔 〕内に具体的な答えを記入してください。
6. **問1の事業所情報の記載内容に誤りがございましたら、該当箇所を二重線で消しこみ、訂正内容をご記入ください。**

インターネットでの回答方法

下記URLまたは二次元コードより、回答ページへアクセスしてご回答ください。

<https://questant.jp/q/OD491BG4>

入力する際は、IDを入力してください。

貴事業所のID「●●●●●」



記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

3月20日（月）までに ご返送ください。

調査についてご質問等がありましたら、次までお問い合わせください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部障害者福祉課 TEL 042-335-4545

FAX 042-368-6126 メール syougai01@city.fuchu.tokyo.jp

おしらせ

この調査の結果については、令和5年5月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所障害者福祉課窓口等に設置いたします。ぜひ、ご覧ください。

府中市障害福祉計画・府中市障害児福祉計画までのスケジュール

府中市障害福祉計画^{※1}・府中市障害児福祉計画^{※2}は、この調査結果等を基礎資料とし、市民、学識経験者、障害者福祉団体等から構成された「府中市障害者計画推進協議会」で検討を進めながら策定します。

※1：障害福祉サービスの必要な量の見込み、その確保策等に関する3年間の実施計画

※2：障害児通所支援等の必要な量の見込み、その確保策等に関する3年間の実施計画

令和5年3月 この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。

令和5年5月頃 調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。

令和5年秋頃 計画についてパブリックコメントを実施します。
ここでいただいたご意見をもとに計画を再調整します。

令和6年3月 府中市障害福祉計画(第7期)・府中市障害児福祉計画(第3期)を策定します。

なお、現計画（府中市障害者計画、府中市障害福祉計画（第6期）・障害児福祉計画（第2期））は、前回の皆様にご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所障害者福祉課窓口や中央図書館等にてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ（<https://www.city.fuchu.tokyo.jp/>）でもご覧いただけます。

◆ 府中市障害者計画、府中市障害福祉計画（第6期）・障害児福祉計画（第2期）

トップページ⇒行政情報⇒施策・計画・審議会・協議会⇒施策・計画⇒健康・福祉分野⇒府中市障害者計画 障害福祉計画・障害児福祉計画

貴事業所の概要についておたずねします

問1 貴事業所の活動状況について教えてください。

(1) 貴事業所の名称等について教えてください。

事業所名	***** [差込印刷]		
所在地	〒**** [差込印刷]		
	***** [差込印刷]		
ホームページURL	1. あり () 2. なし		
担当者名		部 署	
電話番号			
FAX番号			
Eメール			

(2) 調査対象となっている事業の定員数と利用者数を記入してください。
(令和4年9月1日現在)

	事業	現行の定員数	現行の利用者数(実績数)
1	***** [差込印刷]	人	人
2	***** [差込印刷]	人	人
3	***** [差込印刷]	人	人
4	***** [差込印刷]	人	人
5	***** [差込印刷]	人	人

※計画相談支援、障害児相談支援はモニタリング件数を計上してください。
 ※該当なしの場合は－(ハイフン)を記載してください。
 ※追加事業がある場合には余白へご記入ください。

問5 運営上の不安は次のうちどれですか。(いくつでも○)

- 1. サービスに見合う収益が見込めるか
- 2. 十分な利用者が見込めるか
- 3. 他施設と競合しないかどうか
- 4. 初期負担の投資金額が大きいこと
- 5. 人材の確保・育成
- 6. 有資格者の不足
- 7. 特に不安はない
- 8. その他

具体的に

問6 サービスを実施するうえで問題があると考えているのは、どのようなことですか。調査対象となっている事業（問1(2)）ごとにご記入ください。(いくつでも)

		回答
事業	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

※追加事業がある場合には余白へご記入ください。

- 1. 専門職の確保が難しい
- 2. 人材の確保が難しい
- 3. 経営経費・活動資金が不足している
- 4. 報酬が実態にそぐわない
- 5. 利用希望者が多く受け入れが難しい
- 6. 施設規模の面でさらなる利用者の受け入れが難しい
- 7. 利用者に対する情報提供が難しい
- 8. 利用者ニーズの把握が困難である
- 9. 情報の入手や活用のしかたが十分ではない
- 10. 行政や施設間の連携が十分ではない
- 11. その他〔具体的に：
- 12. 特に問題はない

〕

問7 人材確保に向けての課題は、どのようなことですか。

調査対象となっている事業（問1(2)）ごとにご記入ください。（いくつでも）

		回答
事業	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

※追加事業がある場合には余白へご記入ください。

1. 採用に向けた採用戦略・方針が明確になっていない
2. 採用に向けた経営経費・活動資金が不足している
3. 求職者とのマッチングが難しい
4. 長期定着に向けた取り組みが十分にできていない
5. 処遇改善や働きやすい環境の整備が十分にできていない
6. 求人・求職情報の発信先が少ない
7. 仕事のやりがいや魅力を十分に発信できていない
8. その他〔具体的に： }
9. 特に問題はない

問8 対象となっている事業についてお答えください。

貴事業所では、今後5年のうちに対象となっている事業の事業規模を拡大する予定はありますか。

調査対象となっている事業（問1(2)）ごとにご記入ください。（1つに○）

		回答	
事業	1	1. 拡大予定 2. 現状維持	3. 縮小予定 4. 検討中・分からない
	2	1. 拡大予定 2. 現状維持	3. 縮小予定 4. 検討中・分からない
	3	1. 拡大予定 2. 現状維持	3. 縮小予定 4. 検討中・分からない
	4	1. 拡大予定 2. 現状維持	3. 縮小予定 4. 検討中・分からない
	5	1. 拡大予定 2. 現状維持	3. 縮小予定 4. 検討中・分からない
		1. 拡大予定 2. 現状維持	3. 縮小予定 4. 検討中・分からない

※追加事業がある場合には余白へご記入ください。

問 11 貴事業所では苦情・意見等を取り入れるため、どのような工夫をしていますか。
(いくつでも○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 利用者・家族との面談を行う | 5. 連絡帳を利用している |
| 2. 保護者会・懇談会等を行う | 6. その他 |
| 3. 意見箱を設置している | 〔具体的に： _____ 〕 |
| 4. アンケートを実施している | 7. 特にない |

問 12 サービスの質の向上を図るために、第三者評価が重要になっています。第三者評価を実施しましたか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 実施した、実施している | } →問 13 へ進む |
| 2. 実施していないが、実施の予定 | |
| 3. 実施の予定はない | →問 12-1 にお答えください |

問 12-1 問 12 で「3. 実施の予定はない」と答えた事業所におたずねします。その理由はつぎのうちどれですか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 費用がかかりすぎる | } _____ |
| 2. メリットが分からない | |
| 3. その他〔具体的に： _____ 〕 | |

問 13 本市においても福祉施設職員や家族による虐待の事例が報告されています。貴事業所において、障害のある人の虐待防止に向けて取り組んでいることを選んでください。(いくつでも○)

- | | |
|---|---------|
| 1. 虐待防止マニュアルやチェックリストを作成している | } _____ |
| 2. 虐待防止委員会を設置している | |
| 3. 職員に対する虐待防止に関する研修や学習を実施している | |
| 4. 職員の虐待防止に関する意識・関心を高めるための掲示物等を掲示している | |
| 5. 虐待防止に関する責任者を定めている | |
| 6. 虐待事案の発生時の対応方法等を具体的に文章化している | |
| 7. 障害のある人やその家族、地域の人等に対し虐待の防止に関する普及・啓発を実施している | |
| 8. 地域における虐待防止について、事業者間の連携を図っている | |
| 9. 地域における虐待防止について、相談支援事業所、障害者等地域自立支援協議会や行政機関等との連携・協力をしている | |
| 10. その他〔具体的に： _____ 〕 | |
| 11. 特にない | |

問 14 貴事業所がサービス提供するうえで、実際に虐待等の場面に遭遇したなどの経験はありますか。

1. 経験がある →問 14-1 にお答えください
2. 経験はない →問 15 に進む

問 14-1 問 14 で「1. 経験がある」と答えた事業所におたずねします。
差支えなければお答えください。遭遇した事例の内容とその際にどのような対応をされたかお書きください。

問 15 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なことは何だと思われますか。(いくつでも○)

1. 地域住民・企業等に向けた周知・啓発
2. 各種障害者に関するマークの周知・啓発
3. 筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置
4. 意思疎通のために絵や写真カード、ICT 機器（タブレット端末等）等の活用
5. 障害者差別解消法に係るイベントの企画
6. その他〔具体的に： 〕
7. 特にない

地域共生社会づくりに向けた協力意向についておたずねします

問 16 市では、障害に関する知識や障害のある人への理解を広め、お互いの個性を尊重し合い、つながり合い、支え合う地域共生社会を目指しています。地域共生社会の実現に向けて、様々な団体や事業者等との協働が求められていますが、貴事業所としてどのようなことができますか。(いくつでも○)

1. 事業所主催のイベントでの利用者と地域住民の交流の促進
2. 地域の住民や学校に対する福祉の普及啓発（講座や講演会の開催等）
3. 地域の集まりやイベントへの参加
4. ボランティア等の受け入れ
5. 施設への招待、施設見学の受け入れ
6. 地域住民に対する交流スペースの提供
7. 災害時の物資提供等の支援
8. 災害時の避難場所としての役割
9. その他（）
10. 特にない

問 17 地域共生社会の実現に向けて、府中市民に意識を持ってもらう取り組みのほか、貴事業所として何か協力できることはありますか。(いくつでも○)

1. 提供サービスの充実
2. 職員の知識や経験を活かした活動（職員の派遣、講座の講師等）
3. 地域内の関係機関とのネットワーク化
4. 情報等の提供
5. 物品等の提供・寄付金等
6. 金銭面での支援
7. その他（）
8. 特にない

問 18 災害時に事業所として協力できることはありますか。(いくつでも○)

1. 在宅サービス利用者への安否確認
2. 在宅の災害時要援護者の避難支援への協力
3. 施設を福祉避難所として活用することへの協力
4. 障害等のある人の避難場所へのヘルパー等人材の協力
5. その他〔具体的に：〕

感染症対策についておたずねします

問 19 貴事業所では感染症対策についてどのような取り組みをしていますか。
(いくつでも○)

1. 事業継続計画（BCP）の策定
2. 感染症対策マニュアルの作成
3. 職員に対する感染症対策に関する研修等の開催
4. 感染を予防するための備品（使い捨て手袋、マスク、手指消毒薬等）を常備
5. 職員・利用者に対する手洗い・うがいの励行
6. 職員・関係機関等への連絡体制の整備
7. 利用者および面会者への注意喚起
8. サービスを利用する前の利用者の健康チェックの徹底
9. 利用者に対する健康管理の周知・啓発
10. その他〔具体的に：]
11. 特に取り組んでいない

問 20 今般の新型コロナウイルスの対策で、困ったことはどのようなことですか。
(いくつでも○)

1. 正しい情報または適切な対応の仕方などの情報の入手
2. マスク、手指消毒薬等の確保
3. 利用者、家族の相談対応
4. 在宅支援の対応
5. 職員の勤務体制の調整
6. 行政関係の手続き
7. 利用者の利用可否の判断
8. 特にない
9. その他〔具体的に：]

医療的ケア児者への支援の実施についておたずねします

※医療的ケア児者：心身の機能に障害があり、呼吸や栄養摂取、排泄などの際に、医療機器やケアによる医療的生活援助行為を必要とする方たちです。

問 21 医療的ケア児者やその支援方法について知っていますか。（1つに○）

1. 医療的ケア児者も、その支援方法も知っている
2. 医療的ケア児者は知っているが、その支援方法は知らない
3. 医療的ケア児者も、その支援方法も知らない

問 22 貴事業所において、医療的ケア児者に対する支援を実施していますか。
（○は1つ）

1. 実施している ⇒

実施しているサービス

2. 未実施だが、今後実施予定 ⇒

予定時期：（ 年 月頃／未定）
実施を予定しているサービス

3. 実施していない

問 22-1 問 22 で「1. 実施している」と答えた事業所におたずねします。
医療的ケアを実施している児者の人数についてお答え下さい。

1. 未就学児（ ）人
2. 就学後～18歳未満（ ）人
3. 18歳以上（ ）人

問 22-2 問 22 で「1. 実施している」または「2. 未実施だが、今後実施予定」と答えた事業所におたずねします。

医療的ケアを実施する(又は実施予定とする)ために、貴事業所では、どのような工夫を行っていますか。事業運営上の工夫等について、お答えください。(いくつでも○)

1. 利用者の医療的ケアの具体的ケアの聞き取り
⇒a.家族 b.主治医 c.訪問看護師 d.障害福祉サービス事業所
e.保育所・教育機関 f.その他
2. 利用者ごとの医療的ケア実施手順書等を作成
3. 医療的ケアの対応で困ったときに、すぐに主治医等に確認できる体制を作っている
4. 医療的ケアに関する研修に職員が参加できる環境を整えている
5. 医療的ケアを受け入れている事業所と情報交換できる機会がある
6. その他〔具体的に： 〕

問 22-3 問 22 で「1. 実施している」または「2. 未実施だが、今後実施予定」と答えた事業所におたずねします。

医療的ケアの実施に当たって生じた事業運営への影響や、円滑な事業運営を図る上での課題などがあれば、お答えください。
(いくつでも○)

1. 医療的ケア児者の体調管理や緊急対応ができるか不安
2. 医療的ケアの手技等が正しく行えているか不安
3. 利用ニーズがあるが、今以上の人数を受け入れるのは難しい
4. 医療的ケアのない利用者と比較すると、利用日数や回数を制限せざるを得ない
5. 医療的ケアを実施できる職員の確保が難しい
6. 利用者の急なキャンセルが多く、調整に苦労する
7. 特に課題はない

問 22-4 問 22 で「3. 実施していない」と答えた事業所におたずねします。
医療的ケアを実施していない理由をお答え下さい。(いくつでも○)

1. 対象者からの希望がない
2. 費用等の問題で研修の受講が困難
3. 医療的ケアにおける事故等のリスクが大きい
4. 医療的ケアを実施するための職員のスキルが不足している
5. 専門外である
6. 今後、実施を検討したい
7. その他〔具体的に： 〕

問 22-5 問 22 で「3. 実施していない」と答えた事業所におたずねします。
利用者からの希望があれば実施を検討しますか。(1つに○)

1. する
2. しない

問 22-6 問 22 で「3. 実施していない」と答えた事業所におたずねします。
今後、医療的ケアの実施を積極的に検討するためには、どのような事項が重要ですか。(いくつでも○)

1. 対象者からの希望がある
2. 医療的ケアに関する研修が受講しやすくなる
3. 医療的ケアにおける事故等のリスクを低下させる方法を学ぶことができる
4. 医療的ケアを実施するための職員のスキルアップを図れる
5. その他〔具体的に： 〕

強度行動障害の方への支援の実施についておたずねします

※強度行動障害：精神科的な診断によらず、自傷行為や物を壊すなど周囲の人に影響を及ぼす行動が多く、家庭でかなり努力をして養育しても難しい状態が続き、特別な支援が必要な状態です。

問 23 貴事業所において、強度行動障害のある方に対する支援を実施していますか。

※利用人数に該当するのは障害支援区分3以上、障害支援区分の認定調査項のうち行動関連項目等の合計点数10点以上の方。(障害児にあってはこれに相当する心身状態の方)

1. 実施している ⇒

実施しているサービス			
定員数	人	利用人数	人

2. 未実施だが、今後実施予定 ⇒ 予定時期：(年 月頃/未定)
実施を予定しているサービス

3. 実施していない

問 23-1 問 23 で「1. 実施している」と答えた事業所におたずねします。
強度行動障害のある方に対する支援に携わる人数についてお答えください。

1. 職員数 () 人
2. 相談支援専門員 (1のうち) () 人
3. 強度行動障害支援者養成研修の受講修了者 () 人

問 23-2 問 23 で「1. 実施している」または「2. 未実施だが、今後実施予定」と答えた事業所におたずねします。

強度行動障害のある方に対する支援を実施する（又は実施予定とする）ために、貴事業所では、どのような工夫を行っていますか。事業運営上の工夫等について、お答えください。（いくつでも○）

1. 本人とコミュニケーションを取り、家族への聞き取りも行うなどして、アセスメントの実施
2. グループホーム、短期入所等の体験利用を通じての受け入れの検討
3. 職員個人への育成計画を作成
4. 外部の事業所視察の実施
5. 精神医療機関との連携
6. その他〔具体的に： 〕

問 23-3 問 23 で「1. 実施している」または「2. 未実施だが、今後実施予定」と答えた事業所におたずねします。

強度行動障害のある方に対する支援の実施に当たって生じた事業運営への影響や、円滑な事業運営を図る上での課題などがあれば、お答えください。（いくつでも○）

1. 職員数が少ないため、支援体制を構築すること困難
2. 支援するための専用スペースの確保
3. 本人の特性を的確にアセスメントしたり、エビデンスに基づいた支援を実施するための支援が不十分。
4. 支援者のスキルアップや支援の検討が必要
5. 他事業所、医療機関との連携が少ない
6. 事業運営に関する相談の場は少ない
7. 特に課題はない

問 23-4 問 23 で「3. 実施していない」と答えた事業所におたずねします。

強度行動障害のある方に対する支援をしていない理由をお答え下さい。（いくつでも○）

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 人員体制が不十分 | 6. 事務作業の負担が大きい |
| 2. 精神的負担が大きい | 7. 費用等の負担が大きい |
| 3. 事業所の専門性が不十分 | 8. その他 |
| 4. 物理的な環境面の難しさ | 〔 具体的に 〕 |
| 5. 関係機関との連携の難しさ | |

問 23-5 問 23 で「3. 実施していない」と答えた事業所におたずねします。
今後、強度行動障害のある方に対する支援を積極的に検討するためには、どのような事項が重要ですか。(いくつでも○)

1. 強度行動障害に対する専門職など十分な人員の確保
2. 強度行動障害の専門的な知識を身につける研修機会の充実
3. 強度行動障害に関わる相談支援の充実
4. 医療機関等の関係機関との連携・強化
5. その他〔具体的に： 〕

問 24 強度行動障害支援者に対するサービスの開設に向け、どのようなことが必要ですか。(いくつでも○)

1. 基準を満たす人員の確保
2. 職員への研修
3. 運営を行うために必要な広さの専用の区画の確保
4. サービスの提供に必要な設備の確保
5. サービスの提供に必要な備品等の確保
6. その他 ()
7. 必要な準備はできている
8. 実施する予定はない

貴事業所が特に力を入れていることについておたずねします

問 25 事業所が、最も力を入れている点についてお書きください。

問 26 事業所が、利用者に対して、特に力を入れていることをお書きください。

市への要望についておたずねします

問 27 これからの府中市の障害福祉サービスの充実に向けて、どのようなことが必要だと思えますか。(いくつでも○)

1. 各種生活支援サービスの基盤整備
2. 地域生活に移行するための住まいの整備
3. 緊急時・災害時に障害者を支援する体制の整備
4. 障害のある人とその家族が安心して暮らせるための相談体制
5. 障害のある人が安定的に就労するためのシステムづくり
6. 障害者福祉と保健・医療との連携
7. 小規模施設の経営支援
8. 共生にむけた地域社会の理解の促進
9. 人材確保のための取り組み
10. 専門職の育成、確保のための各種支援策
11. 成年後見制度や地域福祉権利擁護事業等の権利擁護のしくみづくり
12. その他〔具体的に： 〕

問 28 障害福祉サービスについてのご要望について、ご自由にお書きください。

問 29 利用者やその家族から寄せられた要望について、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——